

雑草抑制工法について

◆ 雑草抑制工法の概要

- 播種繁殖可能な多年生の草丈の低い植物を使用
- 播種方法は「手蒔き」「種子吹付け」「客土吹付け」「植生マット」から施工地に合わせて選択可能

■ この工法のメリット

- 維持管理は部分的な人力除草、施肥と除草剤の散布のみ。
- 廃棄物の処理量（処理費）が減少する。
- 刃物を用いた作業が無くなり、作業災害リスクが低減する。

■ 工法の特徴

- 草丈の低い植物が被覆することで、その他の植物の進入を抑制する工法です。
- ベース植物と、ベース植物が充分生育するまでの期間の雑草抑制効果を補う先行植物とを組み合わせ使用します。
- 雑草種子の飛来を防ぎ、長期間にわたって一定の景観を維持することができる緑地を形成します。

■ 事例① 吹付タイプ 上越火力発電所



2013/8/8 施工後約1ヵ月目



2016/8/17 施工後約3年目



2018/5/17 施工後約5年目

■ 事例② 植生マットタイプ 西名古屋火力発電所



2017/4/15 施工後



2017/7/14 施工後約3ヶ月



2019/5/13 施工後約2年